

Topics for Your Update

Machinery
Lubrication

2010

Vol.2 **ワールドクラス
潤滑プログラムへの転換**

World-class Lubrication Program
Transformation

著者：Jarrod Potteiger (Noria Corporation)

翻訳：稲子みどり (コンパス・トゥーワン)
Tel. 03-5609-9829 midori@compass21.jp

我々は皆、ありきたりの潤滑プログラムからワールドクラスへの潤滑プログラムへ転換することが難しく、大変な努力を強いることを知っている。大概、この転換の作業は、現場に新たな設備機器を適応させる作業と同様、慣れ親しんだ給油脂の方法を変えることを意味する。優れた潤滑プログラムの実施を阻むものとして、例えば必要な予算などがある。筆者はこれまでに、「私はそうしたいと思っている、だけど上司が駄目だといっている」という台詞を何度も聞かされた。聞かされるたびに、1ドル貰えていたら、その予算の足しになったと思えるほどだ。

自由な予算を持っていない読者にとっては、資金を取得するために、しばしば金策への手腕が必要となる。おそらく、予算を持っている上司というのは、利益の意味を理解しておらず、健全な潤滑管理やオイル分析プログラムのため、何が求められているのかわからないのだろう。新油でさえ実際は汚いし、最も危険な汚染物質は目に見えない、という事実を説明するのは難しいものだ。

というわけで、ワールドクラスの潤滑プログラム

において、一般的な潤滑管理用の器具や付帯設備を採用する利点を、より簡単に理解するために、何らかの比較実例を挙げて説明するのが効果的だ。

小型フィルターカート

今では、ほとんどのユーザーが、潤滑剤の清浄度を管理するための必要性に気づき、多くの場合において、オイルタンク/リザーバーの定期的な汚染除去に、小型のオフライン・フィルターカートが使われている。このツールのもう一つの利点は、オイルの配送にも使えるということである。機械設備へ清浄なオイルを配送する主な利点として付け加えるなら、摩耗を減らす、信頼性を改善する、時間を節約するなどがある。フィルターカートの活用によるオイル交換は、平均的な機器において従来の方法よりも、およそ半分の時間で済むものだ。

この利益は小さくない… というより莫大だ！ 一人の潤滑係が、1シフトあたり2倍のオイル交換が出来ることになる。潤滑係の給料、オイル交換の平均的必要時間、高性能フィルターカートの価格を想定し



てみよう。次に利益を計算する。これが、フィルターカートの魅力を生み出す唯一の方法だ。それでも駄目なら、後回しになっていた他のプロアクティブ保全の仕事を実施するために、もっと時間が必要なんだ、と主張しよう。

フィルターカートのような小型ろ過ユニットを導入するには、クイックコネクタなどの継手の装着を含めた機器の設計変更も必用となる。これがなければ、配送ユニットとしてのフィルターカートの活用は実効性を失い、汚染物質制御の能力を減じる。こんな問題があってはならない。フィルターカートによる時間の節約をシンプルに考えれば、機器の設計変更の費用は、簡単に正当化されるというものだ。

オイルレベル計

私が現場の設備機器を見ていつも驚くのは、オイルレベルをチェックするためのオイルレベル計を導入していない機器が、あまりにも多いことである。さらに悪いことに、オイルレベル計のない機器は、往々にしてレベル管理が厳しいものであったりする。適切なオイルレベルは、油浴潤滑などにとって極めて重要である。十分なオイルレベルの状態と潤滑油不足の状態のオイルレベルの差が、1.5センチ以下である機器もあるのだ。わずか0.5リットルほどのオイルで潤滑する機器なら、わずかなオイルの損失も、壊滅的な故障へつながる恐れがある。

オイルレベルチェックの方法として多く見られるのは、多くは油溜めのポートから、計測用のゲージを入れるものだ。こういった場合、私の経験上、日常的なオイルレベルチェックは、ほとんど実施され

ない。もしこの方法が通常使われているなら、計測に要するプラグの取り外しの時間を考えて欲しい。さらに、床にオイルがこぼれ落ちるまで漏斗でオイルを注いでしまうリスクもある。時間の浪費に加え、こういった汚染物質を機器に侵入させるような技術は、オイルが溢れ出すことによって初めて安全と環境への関心を促すわけだが、それでいいのだろうか。

さて、レベルプラグを取り外し、それに代わる安価な視覚的レベル計を導入することが、どれくらい簡単かを考えてみよう。視覚的判断ができないゲージを導入することで、15ドルを節約することが良い経済感覚とは思えない。全ての潤滑機器は、目で見てわかるレベル計を装填するべきなのだ。安全性の確保についてさらに言えば、効果的なオイルレベルのチェックとして、サイトグラスもまた、汚染の総量や劣化の視覚的検知を可能とする。

サンプリングバルブ

良質のオイル分析プログラムは、良質のサンプリングの実践から始まる。良いサンプリング技術や器具がなければ、オイル分析の潜在価値は、ほとんど失われてしまう。良いサンプリング機器を使う利点はさておき、しつこいようだが、サンプルポート式が従来方式と比較して、いかに時間を節約するかを考えて欲しい。ドロップチューブあるいはバキュームポンプ方式で、サンプルを適切に取るのは手間がかかる。時に乱雑で、潜在的に危険な方法であるばかりか、オイル分析のサンプルとしては多くが有効ではない。付け加えるなら、無駄に長いサンプルチューブの取り回しや、やっかいな場所にある油溜め、

という問題は、適切に選択・設置されたサンプルポートによって根絶できる。フィルターカートやクイックコネクタ継手のように、望ましいサンプルポートを手に入れて導入するコストというのは、このサンプリングによる時間の節約を主張することで正当化されよう。

これらの機器は、ワールドクラスの潤滑プログラムのために必要とされる、ごく一般的な“給油アク

セサリー”だ。得られる利益のほんの一例を挙げた。もし、読者がこれらを得るのも難しいようであれば、これらによって得られる価値を述べてみて欲しい。

すでに実行しているプログラムの変更、ましてありきたりの潤滑プログラムからワールドクラスへ、というのは難しいかもしれない。しかし、困難をより簡単にすること、それを実現するのが、新たなプログラムなのだ。 **ML**

Lubrication Skills Training ... On Television!

Offer standardized training to your team with Noria's affordable DVD training.



New 企業向け大規模サーバーフォーマットに対応しています。

従来の集合研修型セミナーに加え、インターネットを活用したe-ラーニング・セミナーのニーズが広がっています。ノリアの潤滑管理ビデオシリーズは、e-ラーニング教材を管理する世界的な規格SCORM(スコーム)に準拠。教材の配信や、成績管理などの付加機能に対応し、効率的な教育プログラムをサポートしています。

DVD、e-ラーニングの詳細は… www.noria.com/secure or Tel. +1-800-597-5460 内線 104

